

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
東京都港区芝浦三丁目1番21号

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
三菱自動車工業株式会社
代表執行役 加藤 隆雄
(代理人) 京都製作所 所長 森下 善史

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	三菱自動車工業株式会社 代表執行役 加藤 隆雄
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都港区芝浦三丁目1番21号

1 事業所の概要

事業所の名称	三菱自動車工業株式会社 京都製作所 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市小砂町2-1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車製造業
事業の概要	自動車エンジンの製造(加工、組立)					
従業員の数	309	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	14	台	熱源設備	27	台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	318	台
				照明設備	約2800	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和3	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了年度	令和5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

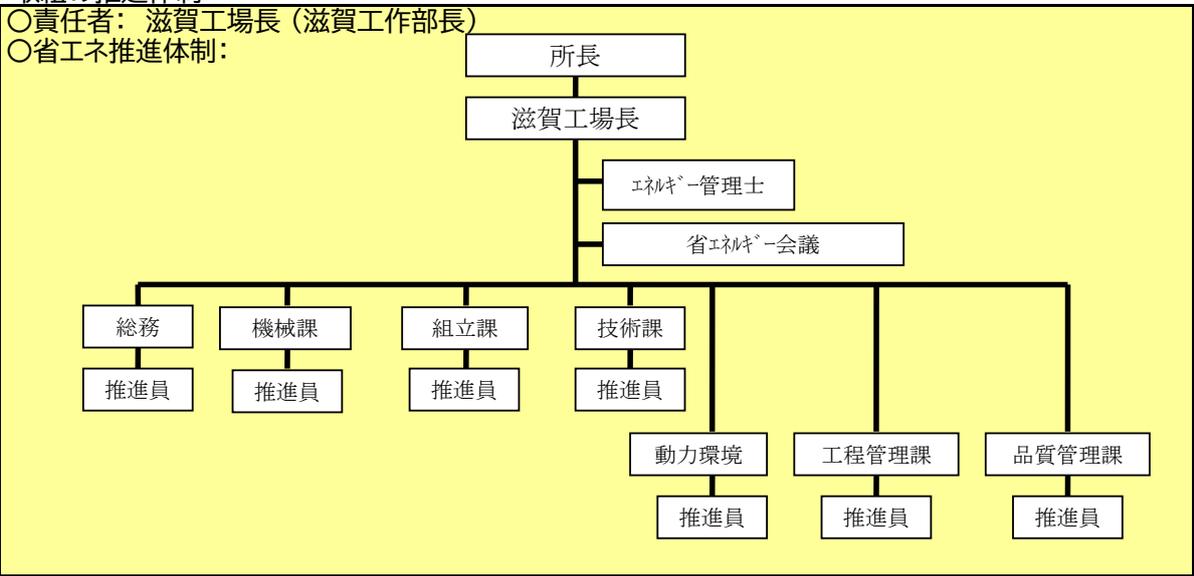
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

<環境方針>
 当社は、環境問題への対応を事業活動を行う上での必須要件として捉え、中長期的な展望を持って具体的で実効性のある対応策に積極的に取り組みます。

(取り組みの方向性)

1. 直接的に取り組む環境問題は、気候変動、資源枯渇、環境汚染の3点とします。
2. 気候変動については、2050年を地球規模の重要な節目の年と捉え、今後の30年間で10年単位で達成すべきレベルを明確にして取り組みを実行していきます。
3. 環境問題への対応にあたっては、以下の活動に取り組みます。
 - ・製品を通じた独自の環境貢献
 - ・クルマの生産・販売・使用過程の各段階での取り組み
 - ・事業上のパートナー、関係機関、政府、自治体との協働
 - ・地域に根ざした環境課題への取り組み
 - ・関連事業活動全体の環境影響の把握と低減への取り組み

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- これまでの主な取組み
- ・赤外線ヒーター導入によるガス暖房機の使用削減
 - ・構内の道路灯の一部LED器具への更新
 - ・高圧トランス停止による無負荷損失の削減
 - ・コンプレッサの運転制御の効率化
 - ・事務所、工場内の蛍光灯を省エネタイプ(Hfランプ)に交換
 - ・生産用温水ボイラー運転時間の短縮。
 - ・下水接続による総合排水処理施設(工程系)の停止。
 - ・高効率ターボコンプレッサの導入
 - ・コンプレッサ台数制御盤の導入
 - ・暖房用ガスのLPGから都市ガスへの変更
 - ・クーリングタワー送水ポンプの冬場停止
 - ・洗浄機運転条件変更(上限設定温度▲5℃低減)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	高圧トランス停止による無負荷損失の削減	R3年～R5年	継続実施中
2	運用改善	エアークOMPレッサの運転制御の効率化	R3年～R5年	R4年～R5年度で実施計画中
3	運用改善	生産設備の稼働率向上によるエネルギー使用量削減	R3年～R5年	継続実施中
4	設備導入	照明器具(蛍光灯)のLED器具への更新	R3年～R5年	R4年度一部実施 R5年度 13工場実施
5	設備導入	エアークOMPレッサの老朽更新 (インバータ式スクリュウ、高効率ターボ)	R3年～R5年	R4年～R5年度で 2台導入

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組等により、令和2年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位:「(温室効果ガス排出量) / (換算台数)」で令和5年度に年平均1%削減</p> <p>上記取組による削減効果を評価するため、電力のCO₂排出係数は、計画基準年度(R2年度)の係数に固定する。</p> <p>※CO₂排出係数 (R2年度 中部電力ミライズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎排出係数: 0.431 (←この係数を使用して評価する。) ・調整後排出係数: 0.426 <p>R2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂総排出量: 13,624 t-CO₂、台数: 91,029台 ・原単位: 149.67 kg-CO₂ 	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度よりも生産台数は減少したものの、省エネ活動等の継続的取組みのうち、特にエアークOMPレッサの老朽更新や13工場照明LED更新等の施策によりエネルギー原単位の改善が出来た <p>R3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂総排出量: 16,562 t-CO₂ ・原単位: 135.82 kg-CO₂ ・計画基準年度比 ▲9.2% <p>R4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂総排出量: 15,085 t-CO₂ ・原単位: 128.76 kg-CO₂ ・計画基準年度比 ▲14.0% <p>R5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂総排出量: 14,674 t-CO₂ ・原単位: 128.63 kg-CO₂ ・計画基準年度比 ▲14.1%

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	7,822	9,494	8,645	7,535		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	13,624	17,786	12,202	12,536		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	13,624	17,786	12,202	12,536		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		149.67	145.86	104.15	109.89		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告	
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況	
1				
2				
3	取組なし (現段階で具体的な計画がないため)			
4				
5				

■ 中長期的な取組

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	13,623	16,395	13,394	14,674		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	13,623	16,395	13,394	14,674		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.426	0.426	0.311	0.434		
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項		・取組み実績なし					

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	電動車両の 利用促進	社員の通勤車両用EV充電スタンドの拡充	R3～	計画通りに実施 (継続実施中)
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台	7	7	9	9		
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	5	5	7	7		
特記事項		アイミーブ 2台、アトラック [®] -PHEV 2台、ミキャブ [®] ミーブ [®] トラック 3台 = 7台 ミキャブ [®] トラック 1台、デリカD:5 1台 = 2台 合計9台 (前年度報告から変更無)						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	分別を促進し、梱包材(プラスチック)・バッテリー ・電線屑・電子基板等をリサイクルする。	R3～R5	計画通りに実施 (継続実施中)
2	その他	社有車に電気自動車等(電気自動車、プラグイン ハイブリッド車、及び低燃費車等)を導入拡大。	R3～R5	計画通りに実施 (継続実施中)
3	生物多様性	緑化推進功労者「内閣総理大臣賞」を受賞した 工場内の緑地を維持する。	R3～R5	計画通りに実施 (継続実施中)
4	その他	直間及び昼夜昼休み構内に入場している部品納品 車両のアイドリングストップの推進	R3～R5	計画通りに実施 (継続実施中)
5				